

12地協

今月号より4回シリーズで各地協の独自の紹介を掲載します。まず第1回は北毛地協です。

No.1 北毛ブロック三地協

沼田地協 numata

沼田地協は48組合約2500名で構成されています。特徴は面積が群馬県の約3割を占める広範にわたり、自治体数も1市8町村と多く、その中で連合推薦議員は2名と少ないことから、より自治体との連携、政策の提言の場を大切にしている点にあります。その中で推薦議員を交え、市長とは2年前から、町村長とは昨年から政策協議の懇談会を実施しています。今後自治体議員の擁立が大きな課題となっています。4月に誕生した星野新市長とも政策協定を結び、政策要望の実現に努力することや、合併問題について地協と自治労沼田地域支部が協議する環境が整いました。



☆議長より一言

- ①信頼される地域活動の地道な推進を目指す！
- ②来年の統一地方選の全推薦候補当選に向けて全力で取り組みたい！！

☆三役と職員

議長 伊藤 重雄(沼田市職労)
副議長 山田 幸夫(東電労組沼田工務支部)
事務局長 高柳 勝巳(全通沼田支部)
書記 天野 美香

☆機関紙：「連合沼田地協ニュース」
(2600部、全組合員・関係団体、不定期発行)
☆メール：ただいま開設準備中

吾妻地協 agatsuma

吾妻地協は22組合12分会2234名で構成されている、12地協の中でもっとも小規模な地協です。昨年の大会で役員改選が行われ、新体制の中、不慣れではありますが新しい取り組みへの情熱もひとしおです。4月28日に実施した「あがつま勤労者フェスタ」においても、役員一同知恵と体力をふりしぼって臨み、一定の成果を収めることができました。副議長自らの着ぐるみ姿は、十分に組合員や当日参加者の皆さんに訴える力を持っていたと思います。規模や地理的な面も含め、連合としてのスタンスが遅れがちな吾妻地協ですが、地域性を活かした取り組みの中で存在をアピールし、その真価を高めていきたいと考えています。

渋川地協 shibukawa

渋川地協は42組合約3900名で構成されています。主な活動としては、労働講座・メーデー・クリーンキャンペーン・政策制度要求と提言等を行い、特徴的な活動として、春闘勝利ゲーム大会をOBも交え団別の運動会形式で行い大変盛り上がっています。また、沼田・吾妻地協と共に三地協連絡会議を年一回持ち回りで開催し、役員の交流とお互いの運動について協議しています。地協では青年女性委員会を構成しており、スキーバスツアー・体験教室・ボーリング大会等を行う中で地域の仲間との交流を作り、次代のリーダーが生まれる事を願っています。これからも北毛三地協の中の渋川地協を宜しくお願いします。

ソーセージ作り体験▶



◀春闘勝利ゲーム大会

☆議長より一言

議長として9年間「地域に合った労働運動」をテーマに活動してきました。今後も役員一同このテーマに沿って努力していきます。

☆三役と職員

議長 平井 勝 (大同特殊鋼渋川労組)
副議長 宮田 雅史 (東電労組渋川工務支部)
茂木 雅夫 (渋川市職労)
事務局長 渡辺 春彦 (関東電化労組)
書記 戸田 枝美子

☆機関紙：「連合しぶかわ」
(900部、単組・未加盟組合・事業団体他、年2回発行)
☆メール：rengo-s@joy.ocn.ne.jp

☆議長より一言

結成から10年を経過しましたが、住民・組合員にもまだまだ認知されていない現状です、皆さまのご協力により理解・認知されるよう役員一丸となって頑張りますので、ご支援ご協力をお願い致します。



「ますのつかみどり」▲
◀議長とパンダ in T副議長

☆三役と職員

議長 桑原 正明 (吾妻町職員組合)
副議長 竹淵 和幸 (朝日松下電工労組群馬支部)
熊迫 泰雄 (東電労組吾妻支部)
事務局長 野村 良秋 (全通吾妻支部原町分会)
書記 篠原 小百合

☆機関紙：ただいま発行を検討中 ☆メール：rengou-a@abeam.ocn.ne.jp